

平成26年8月7日
 大学運営検討会議

新潟薬科大学の国際化推進に関する具体的な方針（国際化ビジョン）の策定について

◆「第2次中期目標・計画（平成25年度～平成29年度）」における国際交流関連項目

I 大学の基本的な目標（長期目標）

☆国際交流を積極的に進め、世界に開かれた大学を目指す。

II 中期目標・計画

| 項目 | 中期目標 | 中期計画 | 番号 |
|-----------|------------------------------------|--|----|
| 3. 教育力の向上 | (4) 海外学術機関との国際交流を通してグローバルな教育を展開する。 | ○留学生向けの奨学金制度や国際交流に関する規程等の見直しを図るとともに外国人向けの広報媒体を作成する。 | 33 |
| | | ○海外からの学生や教職員の受入れ及び海外派遣を通じて、グローバル人材の育成を図る。また、姉妹校以外の海外大学についても協定締結や共同プロジェクトの可能性を調査する。 | 34 |
| | | ○大学のグローバル化に対応できる学内体制（センター組織、事務組織）を整備する。 | 35 |
| 4. 研究力の向上 | (3) 海外研究機関との国際交流を通してグローバルな研究を展開する。 | ○教員の海外派遣制度及び海外講師の招聘制度を見直し、海外研究機関との継続的な国際交流を通じて、研究レベルの向上を図る。 | 46 |
| | | ○共同プロジェクトを展開する等、海外研究機関との国際交流を通じて、研究レベルの向上を図る。 | 47 |
| | | ○研究連携並びに知識及び技術習得を図るため、姉妹校のみならず海外大学への短期派遣プログラムを導入する。 | 48 |
| | | ○姉妹校以外の海外大学との協定締結や共同プロジェクトの可能性を調査・検討する。 | 49 |

※本学ホームページ「中期目標・計画」から抜粋

<http://www.nupals.ac.jp/docs/13-17_2middle_plan.pdf>

◆国際化推進に関する具体的な方針（国際化ビジョン）について

「第2次中期目標・計画（平成25年度～平成29年度）」における国際交流関連項目を意識し、以下のとおり国際化ビジョンを策定する。

I 学内の国際化

ア) 学内体制整備

①委員会組織

国際交流の促進に関する重要事項を審議するため、国際交流担当副学長を委員長とした全学レベルでの「国際交流委員会」を組織する。

【達成年度（目標）：平成26年度中】

②事務組織

国際化推進を実現するため、学長及び国際交流委員会に対応した事務部担当者における「国際チーム」を結成する。

【達成年度（目標）：平成26年度中】

イ) 環境整備

外国人留学生や外国人教職員の受入れを活性化させることを目的とし、以下に示す環境を整備する。

<具体的な検討課題>

- ① 国際交流に関する現行規程の見直し
- ② 留学生の奨学金制度の整備
- ③ 留学生に対するサポート制度（教育・生活両面）の導入
- ④ 文化交流・学術交流コース（市内観光スポット等）の策定
- ⑤ 来日時における居住スペースの確保

【達成年度（目標）：平成27年度中】

II 海外留学の促進

海外留学を促進させるため、国際交流委員会を中心に以下の内容について検討を進める。

ア) 学生の海外留学

学生については、年間20名の留学生派遣を目標とする。

イ) 教職員の海外留学

教職員については、特に若手人材の育成を主たる目的とし、状況に応じて効果的な海外派遣を実現させることを目標とする。

<具体的な検討課題>

- ① 海外留学に関する派遣先の充実
- ② 柔軟かつ多様な派遣プログラムの確立
- ③ その他、海外留学を促進させるための施策の立案

【達成年度（目標）：平成 29 年度中】

III 海外大学等との連携

連携協定の締結校数について、下記の数値を目標とする。

（但し、締結校の数を増やすことのみが目的ではなく、実質的且つ継続的な国際交流活動が展開されることを重要視する。）

| 地域別 | 連携協定の締結校数 | |
|--------|-----------|-------------|
| | 現行 | 目標 (増加数) |
| アジア | 2 | 4 (+2) |
| オセアニア | 0 | 1 (+1) |
| 北米・中南米 | 2 | 3 (+1) |
| 欧州 | 0 | 2 (+2) |
| 計 | 4 | 10 (+6) |

【達成年度（目標）：平成 29 年度中】